

療養病棟で提供されている医療の質に関する状況

- ① 「医療区分・ADL区分に係る評価票」の分析
- ② QI (Quality Indicator) の算出

○「医療区分・ADL区分に係る評価票」の分析

※「医療区分・ADL区分に係る評価票」及び「患者特性調査票」ともに提出のあった患者について集計。

医療区分の患者数分布

医療区分	医療療養病棟20対1				医療療養病棟25対1			
	医療区分・ADL区分に係る評価票		患者特性調査票		医療区分・ADL区分に係る評価票		患者特性調査票	
	件数	構成比%	件数	構成比%	件数	構成比%	件数	構成比%
医療区分3	3,010	33%	3,040	33%	1,771	19%	1,869	21%
医療区分2	5,102	56%	4,936	54%	3,897	43%	3,956	43%
医療区分1	1,029	11%	1,165	13%	3,440	38%	3,283	36%
合計	9,141	100%	9,141	100%	9,108	100%	9,108	100%

評価項目該当数別件数の状況

評価項目該当数	医療療養病棟20対1				医療療養病棟25対1			
	医療区分・ADL区分に係る評価票		患者特性調査票		医療区分・ADL区分に係る評価票		患者特性調査票	
	件数	構成比%	件数	構成比%	件数	構成比%	件数	構成比%
該当1項目のみ 該当する患者数	4,878	53%	3,929	43%	3,884	43%	3,476	38%
該当2項目以上 該当する患者数	3,234	35%	4,047	44%	1,784	20%	2,349	26%
該当項目無し (医療区分1)	1,029	11%	1,165	13%	3,440	38%	3,283	36%
合計	9,141	100%	9,141	100%	9,108	100%	9,108	100%

(参考) 平成20年度調査

評価項目該当数	医療区分・ADL区分に係る評価票		患者特性調査票	
	件数	構成比%	件数	構成比%
該当1項目のみ 該当する患者数	329	69%	2,479	46%
該当2項目以上 該当する患者数	147	31%	2,904	54%
合計	476	100%	5,383	100%

医療区分評価項目の該当状況

医療区分評価項目	医療療養病棟20対1		医療療養病棟25対1	
	医療区分・ADL区分に係る評価票	患者特性調査票	医療区分・ADL区分に係る評価票	患者特性調査票
	該当件数	該当件数	該当件数	該当件数
医療区分3	3,812	4,238	2,166	2,539
医療区分2	9,796	11,290	6,269	7,192
延べ該当件数①	13,608	15,528	8,435	9,731
患者数合計② (医療区分2・3該当患者)	8,345	7,976	5,685	5,825
患者1人当りの該当件数 (①/②)	1.6	1.9	1.5	1.7

○Q I (Quality Indicator) の算出

全 体

Q I 項目	横断調査患者特性調査 Q I 算出結果										
	病院数	分母の患者数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	25%分位点	75%分位点	平均+2標準偏差	はずれ値病院数	はずれ値病院割合
身体抑制	885病院	18,249人	11.4%	19.1%	0.0%	100.0%	0.0%	17.6%	49.7%	50病院	5.6%
留置カテーテル	1,532病院	32,153人	13.0%	16.3%	0.0%	100.0%	0.0%	20.0%	45.6%	79病院	5.2%
尿路感染症	1,532病院	32,153人	2.6%	6.8%	0.0%	96.4%	0.0%	1.6%	16.2%	59病院	3.9%
褥瘡	1,532病院	32,153人	7.1%	9.7%	0.0%	78.6%	0.0%	10.9%	26.5%	75病院	4.9%

医療療養病棟（看護配置20：1）

Q I 項目	横断調査患者特性調査 Q I 算出結果										
	病院数	分母の患者数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	25%分位点	75%分位点	平均+2標準偏差	はずれ値病院数	はずれ値病院割合
身体抑制	442病院	9,141人	12.1%	19.0%	0.0%	100.0%	0.0%	18.7%	50.1%	19病院	4.3%
留置カテーテル	783病院	16,323人	14.2%	17.6%	0.0%	100.0%	0.0%	22.3%	49.4%	47病院	6.0%
尿路感染症	783病院	16,323人	3.2%	7.6%	0.0%	78.6%	0.0%	2.7%	18.4%	33病院	4.2%
褥瘡	783病院	16,323人	7.5%	9.8%	0.0%	78.6%	0.0%	11.3%	27.1%	41病院	5.2%

医療療養病棟（看護配置25：1）

Q I 項目	横断調査患者特性調査 Q I 算出結果										
	病院数	分母の患者数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	25%分位点	75%分位点	平均+2標準偏差	はずれ値病院数	はずれ値病院割合
身体抑制	496病院	9,108人	11.0%	19.1%	0.0%	100.0%	0.0%	16.3%	49.2%	31病院	6.3%
留置カテーテル	832病院	15,830人	11.8%	14.7%	0.0%	85.7%	0.0%	20.0%	41.2%	42病院	5.0%
尿路感染症	832病院	15,830人	2.2%	6.5%	0.0%	96.4%	0.0%	0.0%	15.2%	31病院	3.7%
褥瘡	832病院	15,830人	6.5%	9.6%	0.0%	66.7%	0.0%	10.0%	25.6%	36病院	4.3%

※平成18・20年度の患者特性調査に参加した25病院のうち、今回調査に参加した20病院のデータを算出

Q I 項目	横断調査患者特性調査 Q I 算出結果										
	病院数	分母の患者数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	25%分位点	75%分位点	平均+2標準偏差	はずれ値病院数	はずれ値病院割合
身体抑制	13病院	610人	12.3%	14.0%	0.0%	38.0%	0.0%	23.8%	40.3%	0病院	0.0%
留置カテーテル	20病院	771人	13.4%	11.0%	0.0%	37.1%	5.2%	21.8%	35.4%	1病院	5.0%
尿路感染症	20病院	771人	6.0%	9.1%	0.0%	40.0%	0.0%	9.0%	24.2%	1病院	5.0%

(参考) 平成20年度 Q I 算出結果

Q I 項目	平成20年度患者特性調査 Q I 算出結果										
	病院数	分母の患者数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	25%分位点	75%分位点	平均+2標準偏差	はずれ値病院数	はずれ値病院割合
身体抑制	25病院	2,047人	19.6%	24.1%	0.0%	100.0%	2.5%	24.0%	67.8%	2病院	8.0%
留置カテーテル	25病院	2,047人	14.6%	9.6%	3.0%	35.3%	6.8%	20.2%	33.7%	2病院	8.0%
尿路感染症	25病院	2,047人	11.2%	14.4%	0.0%	60.3%	1.7%	14.8%	40.1%	2病院	8.0%

(参考) 平成18年度 Q I 算出結果

Q I 項目	平成18年度患者特性調査 Q I 算出結果										
	病院数	分母の患者数	平均値	標準偏差	最小値	最大値	25%分位点	75%分位点	平均+2標準偏差	はずれ値病院数	はずれ値病院割合
身体抑制	25病院	2,244人	24.7%	30.1%	0.0%	100.0%	1.0%	30.9%	84.8%	1病院	4.0%
留置カテーテル	25病院	2,244人	11.0%	8.0%	0.0%	27.4%	5.3%	15.6%	27.0%	1病院	4.0%
尿路感染症	25病院	2,244人	8.3%	6.8%	0.0%	23.3%	3.4%	12.5%	22.0%	1病院	4.0%

注) 今回の調査と平成18・20年度調査とは、調査方法やQ I の定義に一部違いがあるため、単純比較はできないことに留意が必要。

【Q Iの定義】

Q I 項目	分子	分母
身体抑制	毎日身体抑制している患者 ※「身体抑制」は下記のいずれかの行為の一つでも行った場合に該当する。 ・四肢、体幹部の抑制 ・ベッドを柵（サイドレール）で囲む ・介護衣（つなぎ服）の着用 ・車いすや椅子から立ち上がれないようにする ・ミトンの着用（手指の機能抑制） ・自分の意志で開けることのできない居室等への隔離	全患者
留置カテーテル	膀胱カテーテルを留置、または導尿の処置をしている患者	全患者
尿路感染症	尿路感染症の治療を実施している患者	全患者
褥瘡	第2度以上または2カ所以上の褥瘡があり、褥瘡の治療を実施している患者 ※「第2度」の褥瘡：皮膚の部分的喪失；びらん、ただれ、水疱、浅いくぼみとして現れる場合	全患者